おぢか こうみんかん だより

平成29年
9月4日
第131号

第53回少年少女スポーツ大会開催！

8月6日（日）、小値賀中学校グラウンドにおいて、小値賀町青少年健全育成会主催による「第53回少年少女スポーツ大会」が開催されました。

今年は男子33名、女子33名の計66名の小中学生が集まり、ソフトボール、バドミントンともに３チームによる熱戦が繰り広げられました！また、バドミントンでは団体戦の他に小学生、中学生同士でペアを組んでの個人戦も行われました。

数々の名勝負の結果、ソフトボールは「ライオンさんチーム」、バトミントンは「Team１０」が優勝となりました！

閉会式後、試合参加者の皆さんにはお茶とアイスが配られ、大会は無事終了となりました。

暑い中参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました！来年の参加もよろしくお願いします！

→熱い攻防が行われました！

→多くの方が応援に来てくれました！

・ソフトボール

優勝　ライオンさんチーム

準優勝　カバさんチーム

第３位　青みどり会

・バドミントン

優勝　Team１０

準優勝　ふかみどり

第３位　ウサギさんチーム

～図書館からのご案内～

＝＝新しく入る本＝＝

［一般書］

◆宝くじで１億円当った人の末路　［鈴木　信行］
◆ママのアンガーマネジメント８つのマジック　～子育てのｲﾗｲﾗｽｯｷﾘ！～
◆いちばんやさしい苔盆栽と豆盆栽　［葉住　直美］
◆永久囚人　～警視庁文書捜査官～　［麻見　和史］
◆弥栄の鳥（八咫烏ｼﾘｰｽﾞ）　［阿部　智里］
◆ＡＸ　［伊坂幸太郎］
◆茜の茶碗　ー裏用心棒譚ー　［上田　秀人］
◆ときどき旅に出るカフェ　［近藤　史恵］
◆もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら　［神田　桂一］

お菓子作り教室を開催しました！

夏休み恒例の子ども向け「お菓子作り教室」。
７名の子どもたちが、３つの班に分かれてお菓子作りをしました。
今回のレシピは「でかクッキー」！！
型抜きはせずに、天板いっぱいに一枚の大きなクッキーを作ります。
初めての卵割りや卵黄と卵白を分ける作業を、恐る恐るやっていた子どもたちも、材料を捏ねたり伸ばしたりする時には、（袋が破れるのでは？）と思うほどいきいきと元気よく作業をしていました。
ピザの様に丸く大きな生地ができあがると、今度はトッピングです。
それぞれの個性に溢れたクッキーが出来上がりました！
とても楽しかったようで、「こんどはいつ？」「次も申し込む！」「サッカーの練習日は避けてください。」などと、早速、次の開催日の予定を講師の中村裕子さんに全員が口々に尋ねる場面も…。
次回の開催は、冬休みに予定しています。開催日が決定したら館内にポスターを掲示しますので、こまめに来館してみてください。

袋の中で混ぜ合わせ

トッピングに夢中！

拡大

5年生の作品

遊遊句抄

８月【兼題】　秋　朝顔　隠元豆（いんげんまめ）

朝顔は天折の子の置土産　松月
朝顔の登りつめたり古格子
誕生日夫におくりし秋のシャツ　香松
朝顔にはじまる今日の風のみち
老の作いんげん豆の届く朝　紫紅
隠元の緑に習う生気かな
秋の浜月日貝また忘れ貝　虫砂男
あぜ道を行けばまつわる小さき秋
一世紀生きて泰然爺の秋　値賀助
夕されば庭に染み入る秋の影
大島を訪ね巡りて　こうふじん
耕不盡石碑新たに秋迎ふ　月歩
朝顔や遠き月日の海士の家
満天の星降り注ぎ島の秋　一穂
迎へ咲く青き朝顔廂（ひさし）まで
バスツアープランは秋の始まりて　小梅
朝顔に言葉がけして水やる児
釣親子波止場で競う秋のタ　利石
インゲンとキンメの煮つけ友をよぶ

発行：小値賀町公民館　【小値賀町笛吹郷２３７１番地　電話0959－56－3838】

連続企画

サークル訪問記

体協ソフトテニス部を訪ねました。

職場団体テニス大会

恵まれた環境でテニスプレィ

親父も娘に負けない・・

テニスがんばるぞー。

9/3佐々町で郡民体育大会が開催されました。１１月は県大会へ。

発足のころのことを聞いても現部員は誰もご存じなく、つてを頼って尋ねてみると、今の８０代９０代の方が若いころに始まったといいますから、確実に半世紀以上の歴史があるようです。１３ヵ町村あった北松浦郡民大会で、上位になり県民大会に駒を進めるほど強い時代もあったとか・・。テニスコートも、役場裏に手づくりの土のコートがありました。

現部員にテニスを始めたきっかけを聞くと、多くは中高の部活動から・・。

「友だちや先輩がみんなテニス部だったので、自然とテニス部に入った。」

「運動神経が鈍いから野球は苦手、バレーも苦手。テニスしかなかった・・。」(同じ趣旨の答えが３人。)

中には、大学生から始めた人もいて

「今までやったことのないスポーツをやってみたいと思い始めました。」(それまでは、バレーと陸上。)

さらに、こんな人も・・

「60の手習いで、やってみようと自分に挑戦です。」

続いて、テニスあるいはテニス部の魅力について聞いてみました。

「ペアと協力して、ゲームの組み立てができる。協力・共同のスポーツですね。」

「互いに対戦相手の苦手なところを攻めながら、結果として互いに伸びていきます。」

「テニスでビッシリ汗をかいて、ふろ上がりの一杯は最高。ビールの味が数倍美味くなります。」

「ふだんの仕事の範疇では知り合えない方と知り合いになれた。人間関係が広がりました。」

「歳をとってもプレイできる。自分の体と相談しながら、生涯スポーツとして最適です。」

仕事の関係で小値賀町に来た人もたくさん加わっていて、開かれたサークルだと感じました。

活動は、毎週火曜日夜７時半から総合運動公園テニスコート。主な行事は、７月に職場団体テニス大会。９月には郡民大会。１０月から１１月にかけて、小学生テニス教室をやっています。

運動苦手も大丈夫。歳をとっても大丈夫。お酒好きでも大丈夫。ボールを追って身体を動かし、汗をかいて仲間をつくって、心も体も元気はつらつ。ソフトテニス部へ。

連載

ヤマカンの四方山話(よもやまばなし⑥)

夏休みの思い出　牛・海・ソフトボール

子どものころの夏休みの思い出と言えば、まずは牛の世話。当時、農家のほとんどの家には農耕牛用の牛がいて、その世話をするのが子どもの仕事でした。私の部落・地域では、早朝に牛を追い番岳に放牧に行きます。放牧と言っても全くの自由にするのではなく、杭をつけた長綱につなぎ、ある程度の範囲を自由に動き回れるようにするのです。餌となる草が豊富に生えているところを選んだり、よその牛と絡まないように長綱の長さを考慮して杭を打ったり、場所をローテーションしたりと、子ども心に工夫をしたものです。

番岳に牛を預けると、その足で学校の運動場へ行き、ソフトボールの練習です。中学生のアンちゃんたちをリーダーに、どの部落どの町内会からもチームが参加し、練習に明け暮れていました。「ソフトで優勝する。」というのは夏休みの大きな夢・目標で、甲子園を目指す高校球児のような熱の入れようだったと思います。また参加チームも多いので、場所取りも大変でした。夜明け前、東の空に明けの明星が輝くころに、場所取りに出かけたりもしていました。

ソフトの練習が終わると、昼ごはんもそこそこに海へと出かけます。稗崎の磯場が隠れる満ち潮の時には、単に泳いだり飛び込んだりして遊ぶだけ。磯場が顔を出す大潮のときには、ほとんどサザエ取り。父親の晩酌の肴に、小さな磯てぼ一杯採るのが目標でした。当時は、サザエの餌となる海藻も豊富で、海の中にはカジメやワカメ、ホンダワラなどが林のように生えていました。食物連鎖のサイクルがとても豊かだったと思います。

海から帰ると井戸で水浴びして、番岳に牛を迎えに行きます。長綱を外すと、牛は独りでに頂上に向かいます。てっぺんの忠魂碑前に、美味しい草が豊富だということを知っているわけです。牛が腹ごしらえをしている間に、みんなで遊びに興じます。缶けり、助け鬼、棒切れ?ベースボールetc.時間を忘れて遊びに熱中していました。

こうして子どものころの夏休みを思い出していると、実にいい時代にいいところで子ども時代を過ごしたなと感謝の念を強くします。自分自身の人間としての礎が、あの頃つくられたのだと感じるからです。

まずは、地域に縦のつながり・集団があったこと。そして、その集団でたくさんの遊びを経験したこと。特に、自然との遊びや関わりが貴重だったと思います。さらにもう一つは、自分の役割を果たすべき仕事があったことです。子どもの発達に大切なキーワード、集団・遊び・自然・仕事、それらが当たり前に存在していたわけです。

夏休みが終わりました。子どもたちは、この夏どんな経験をしてどんな思い出を刻んだのでしょうか。楽しかった経験を糧に、２学期も笑顔いっぱいで過ごしてほしいと思います。子どもたちは島の宝、その笑顔は私たち町民の希望です。

今の子どもたちが大人になったとき「いい時代にいいところで過ごした。」とふりかえることができるようにと、半世紀先の未来に思いを馳せた晩夏でした。